

平成31・令和元年度

4月 ・常設展「カメラがとらえた久留米の100年 私の街私の時代」

4～6月 ・防災展 備える力が未来をもっと強くする／防災対策課

7～9月 ・企画展「久留米市誕生～明治二十二年四月一日ヨリ久留米市ヲ施行ス」



令和元年7月6日(土)～9月23日(月・祝)

久留米市は、明治22年(1889)2月2日、「明治22年4月1日ヨリ久留米市ヲ施行ス」と内務省告示第1号で市制施行地に指定されました。当時、人口が2万5千人に満たず、施行された都市の中で最も人口の少ない都市でした。

市の施行にあたっては、要件として2万5千人が目安とされていましたが、久留米市は人口増加が見込まれる地域として、市制が認められたという経緯があります。

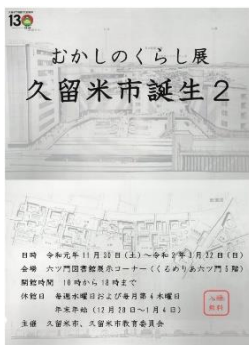
以来、久留米絁に代表される染織業の興隆、地下足袋の「つちや足袋」、「志まやたび」をはじめとするゴム産業の躍進、師団誘致に発する軍都としての発展、周辺地域との合併等、先達の長期的展望にたった町づくりが礎となり、今日の人口30万規模の中核都市があると言えます。

130年目にあたる本年、久留米市文化財収蔵館が収蔵する歴史資料の中から地図、古写真を中心に紹介し、本市の足跡をたどります。

10～11月 ・高校生が描く世界人権宣言展／人権啓発センター

11月 ・本のお宝市／六ツ門図書館

11～3月 ・むかしのくらし展「久留米市誕生2」



令和元年11月30日(土)～令和2年3月22日(日)

今回の「むかしのくらし展」は夏に開催した「久留米市誕生」の後編になります。夏の展示では明治22年の市政施行から昭和20年の終戦までをテーマとしましたが、「むかしのくらし展」では戦後から現在までを展示します。

久留米空襲と昭和28年西日本水害から力強く復興し、躍進を続け中核市へと成長した久留米市130年の歩みを振り返ります。